アメリカ軍兵士を支えたのは「パパーパック」だった

7年間に、実に1億400万冊以上が軍隊に配られた「パパーパック」。その中に、世界中の書籍が揺らぐ。

軍隊に手が届く余裕と楽しみ

片山
日本軍では明治初期にさかのぼる読書文化。軍隊の兵士たちが読書を楽しむことが、その勇気を高めるに違いない

軍隊の読書文化が、戦争を通じて発展し、今日に至る

山内昌之

この軍隊の読書文化は、戦争の道具としての利用も織り交ぜられ、今日に至るまで続く。
中島信雄『舌を絞められた岩波文庫』

中島 信雄

高坂正広と戦後日本の

『高坂正広』は、戦後日本の政治界を象徴する存在の一人である高坂正広についての研究でした。書籍は、高坂正広の生平、その思想、政治活動、そして彼の影響について論じられています。特に、高坂正広が戦後日本の政治界に大きな影響を与えたことについて、彼の思想や行動がどのように評価されるかについての考察がなされています。

高坂正広は、戦後日本の政治界において重要な役割を果たしました。彼の思想や行動は、戦後日本の政治界を象徴する存在の一人として見られています。書籍は、高坂正広の生平、思想、政治活動、そして彼の影響について論じられています。特に、高坂正広が戦後日本の政治界に大きな影響を与えたことについての考察がなされています。
姉・米原万里

思い出の食事と共に

食いしん坊で読書家
妹が見た妹の素顔

 вн言

鼎談書評

片山・松江一郎

姉・米原万里

思い出の食事と共に

食いしん坊で読書家
妹が見た妹の素顔

 вн言
今月の朗読といえば、先月の朗読会、という形で行われています。朗読は、単に読むのではなく、その文章を心に感じ、体験することを目的としています。朗読者は、声の響き、節の変化、感情の流れをうまく伝え、聴衆を引きつけます。書評家や作家が、自分たちの作品を朗読する時も、その効果を感じることができます。

朗読が行われたのは、日本文学の名著、「源氏物語」でした。その物語は、平安時代の貴族社会の風俗を、優雅な文様で描写しています。朗読者は、その物語の美しさと深さを、まるでピエール・アリオのブックレビューを聴くかの如く、聴衆に伝えてくれました。

朗読会は、読書の楽しみ、友人との交流の場、新しい発見の機会として、多くの人に愛されています。朗読は、読書の新しい楽しみ方を提供し、書籍の価値を高め、読書の文化を広める大切な活動であると言えます。